

単元構想シート ○○市立○○学校 1年 数学科 単元名「 変化と対応 」 全 17 時間

単元目標 (育成したい資質・能力)	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事象の中にある伴って変わる二つの数量に着目し、関数関係を見いだすことができる。 ・関数関係の意味を理解することができる。 ・比例、反比例の意味を理解することができる。 ・座標の意味を理解することができる。 ・比例、反比例を表、式、グラフなどで表し、それらの特徴を理解することができる。 ・比例、反比例を用いて具体的な事象を捉え説明することができる。
----------------------	--

二 つ の 側 面	<p>A…主に文章や図、グラフから読み解き理解する力</p> <p>B…主に他者とのやりとりから読み解き理解する力</p>	三 つ の プ ロ セ ス	<p>①発見・蓄積 必要な情報を確かに取り出す</p> <p>②分析・整理 情報を比較し、関連付けて整理する</p> <p>③理解・再構築 自分なりに解決し、知識を再構築する</p>
-----------------------	---	---------------------------------	---

<p>① 単元の流れ ○主な学習活動 □指導上の留意点</p> <p>④</p>	<p>③ 「読み解く力」を育成するための手立て</p> <p>○課題設定の工夫 「文章や図、グラフから読み解き理解する力」について、数直線や表から数量の関係を読み取ったり、文章問題で使われている言葉と操作を正しく結び付けたりすることに課題が見られる。そこで文章を読んで表を作ったり、式を立てたり、グラフをかいたりする場面を多く設定する。これらの学習活動を通して、文章や図、グラフから正確に情報を読み取り、説明できる力が育成されるよう重点的に指導する。</p> <p>○考えを再構築する工夫 「他者とのやりとりから読み解き理解する力」について、対話的な活動には積極的に取り組むものの、自分の考えをただ発信することにとどまり、他者の考えを受け止めることで自分の考えを整理したり、新たな発見に結び付けたりする力が十分身に付いていない。そこで自分の読み取った情報が適切であるかどうかを判断するために、ペアやグループで考えを交流する活動を設定し、他者の考えに触れることで、自分の考えを整理したりまとめたり、新たな課題に向けた見通しをもつことができるようにする</p>	<p>② 「読み解く力」の育成に重点を置いた目指す児童生徒の姿</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">A : 文章・グラフ・図から</td> <td style="width: 50%;">B : やりとりから</td> </tr> <tr> <td> <p>①文章や資料を理解・評価しながら読む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関数関係の意味や比例、反比例とは何かを説明することができる。 ・座標の意味を理解する。 </td> <td> <p>①相手の言葉、しぐさ、表情をもとに相手の思いを感じ取る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者の考えや意見を理解する。 </td> </tr> <tr> <td> <p>②様々な情報を比較し、推論しながら取り出したことをまとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比例、反比例について、表、式、グラフを活用して、変化の特徴を見いだすことができる。 </td> <td> <p>②今までの経験に照らしながら、相手の意図や思いを正確に理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者の考え方を比較する中で、なぜそのように考えたのかを理解し、比較や反比例の特徴について深める。 </td> </tr> <tr> <td> <p>③解釈した内容を経験や知識に結び付けて理解し、新たな情報と関連しながら創造していく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比例、反比例を用いて、具体的な事象を捉えて考察し、表現することができる。 </td> <td> <p>③やりとりを通して、相手の意図や思いを取り入れたり、相違点を明らかにしたりしながら自分の考えを深め創造していく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やりとりの中で、自分の考えの形成に役立つ情報を捉える。 </td> </tr> </table>		A : 文章・グラフ・図から	B : やりとりから	<p>①文章や資料を理解・評価しながら読む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関数関係の意味や比例、反比例とは何かを説明することができる。 ・座標の意味を理解する。 	<p>①相手の言葉、しぐさ、表情をもとに相手の思いを感じ取る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者の考えや意見を理解する。 	<p>②様々な情報を比較し、推論しながら取り出したことをまとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比例、反比例について、表、式、グラフを活用して、変化の特徴を見いだすことができる。 	<p>②今までの経験に照らしながら、相手の意図や思いを正確に理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者の考え方を比較する中で、なぜそのように考えたのかを理解し、比較や反比例の特徴について深める。 	<p>③解釈した内容を経験や知識に結び付けて理解し、新たな情報と関連しながら創造していく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比例、反比例を用いて、具体的な事象を捉えて考察し、表現することができる。 	<p>③やりとりを通して、相手の意図や思いを取り入れたり、相違点を明らかにしたりしながら自分の考えを深め創造していく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やりとりの中で、自分の考えの形成に役立つ情報を捉える。
A : 文章・グラフ・図から	B : やりとりから										
<p>①文章や資料を理解・評価しながら読む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関数関係の意味や比例、反比例とは何かを説明することができる。 ・座標の意味を理解する。 	<p>①相手の言葉、しぐさ、表情をもとに相手の思いを感じ取る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者の考えや意見を理解する。 										
<p>②様々な情報を比較し、推論しながら取り出したことをまとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比例、反比例について、表、式、グラフを活用して、変化の特徴を見いだすことができる。 	<p>②今までの経験に照らしながら、相手の意図や思いを正確に理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者の考え方を比較する中で、なぜそのように考えたのかを理解し、比較や反比例の特徴について深める。 										
<p>③解釈した内容を経験や知識に結び付けて理解し、新たな情報と関連しながら創造していく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比例、反比例を用いて、具体的な事象を捉えて考察し、表現することができる。 	<p>③やりとりを通して、相手の意図や思いを取り入れたり、相違点を明らかにしたりしながら自分の考えを深め創造していく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やりとりの中で、自分の考えの形成に役立つ情報を捉える。 										
<p>①～② 関数とは何かを学ぶ</p> <p>□具体物や ICT を活用して、伴って変わる二つの数量の存在に気付くことができるようにする。</p> <p>③～④ 比例について学ぶ</p> <p>□表の値をもとに、x と y を用いて式に表す。</p> <p>□表や式を比較しながら調べ、比例の特徴を理解できるようにする。</p> <p>⑤～⑥ 座標について学ぶ</p> <p>□二つの数の組であることを押さえる。</p> <p>⑦～⑨ 比例のグラフの表し方を学ぶ</p> <p>□点と線の間隔を理解できるようにする。</p> <p>⑩ 比例の特徴を学ぶ</p> <p>□グラフや式を活用して、比例の特徴に基づいた根拠を明らかにして説明できるように指導する。</p> <p>⑪～⑫ 反比例について学ぶ</p> <p>□比例の関係と比較し、その違いに着目させ指導する。</p> <p>⑬～⑭ 反比例のグラフの表し方を学ぶ</p> <p>□表をもとに、座標をとり、比例の時と同様に変化の様子を確認するとともに、複数のグラフ、表、式を比較する場面を設定する。</p> <p>□グラフが原点を通らない双曲線となることを押さえる。</p> <p>⑮～⑰ 身の周りから比例や反比例を見つけ、文章や式、グラフ、表を活用して解決を図る。【振り返り】</p> <p>□比例や反比例の関係に気付くために、具体物を用いてイメージをもてるようにしたり、表を使って数量の変化を調べたりすることができる。</p>											